和歌山循環協

不法投棄防止パトロール実施

地域の環境保全に継続して貢献

撤去作業のようす

さまざまな廃棄物を回収

（一社）和歌山県産業資源循環協会（須磨徳裕会長）和歌山県かつらぎ町周辺で「不法投棄防止巡回パトロール」を実施した。同協会の収集運搬部会においてパトロールを行い、不法投棄物を発見した場合には可能な範囲で撤去。協会員や行政関係者ら27人が参加し、計約1785㌔㌘の廃棄物を撤去した。この取り組みは、和歌山県の条例に基づく「わかやまごみゼロ活動」として認定されている。環境保全や地域社会への貢献に継続して取り組み、業界の認知度向上につなげている。

当日は、3㌧アームロール車1台、2㌧ユニック車1台、2㌧ダンプ1台、軽ダンプ1台、軽トラック5台、乗用車4台を活用した。冷蔵庫やテレビ、スレート、便器、タイヤ、PETボトル、空き缶・びん、木くず、金属くず、ガラスくず、その他可燃ごみなど、計1785㌔㌘を撤去。回収した廃棄物は、広域ごみ処理場「エコライフ紀北」に搬入した。

また、10月9日にも和歌山市内一円で、同パトロールを実施した。協会員や行政関係者ら23人が参加。車両には、不法投棄防止の啓発横断幕やマグネット表示板を装着するなどの工夫を施している。各地域で継続的にパトロールを行い、地域貢献につなげている。

同協会は、「地域の環境保全に貢献するため、今後も継続して巡回パトロールを実施する予定だ」とした。

循環経済新聞　令和７年１０月２７日